



腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療

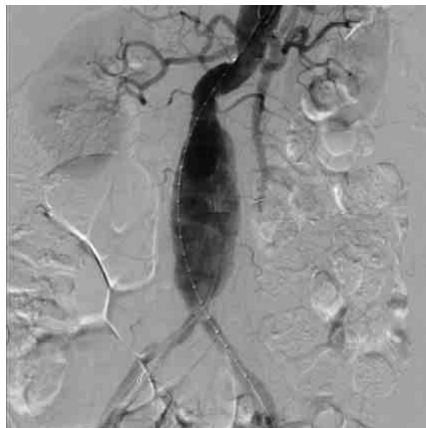
ー腹部大動脈瘤はお腹を開けずに治療できます!!ー

循環器科 飯田 修

腹部大動脈瘤に対する治療は、保存的治療(内服・点滴治療)では改善しません。つまり発見されれば手術しかありません。一般的には5cmを超えると手術適応になります。なぜなら5cmを超えると破裂のリスクが高くなり破裂した場合の救命率は非常に低いためです。(4~5cmでの破裂リスク:0.5~5%/年、5~6cmでの破裂リスク:3~15%/年)

手術には、開腹術とステントグラフト治療があります。後者は、患者様への体の負担が少なく、手術に比べて安全に行えると考えます。実際には大動脈瘤の形状などにもよりますが、高齢者の多い大動脈瘤の治療では**ステントグラフト**が非常に有用と考えます。当院では、ステントグラフト治療1~2日前に入院して頂き、麻酔科受診及びステントグラフト治療の説明を行い、翌日カテーテル治療室にて、局所麻酔下で約2時間で治療します。

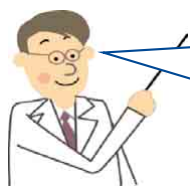
手術当日は集中治療室に入室しますが、翌日には一般病棟に退室しリハビリ開始です。殆どの患者様が翌日から歩行可能であります。当院では、術後1週間創部の観察を行い、1週間後にきちんとステントグラフトが留置されたかを確認するCT検査を行い退院です。現在2週間に約1例ペースで行っております。特に当院では、①高齢患者様に合併した症例、②切迫破裂症例、③開腹手術の既往があり開腹での大動脈瘤治療が困難な症例などに対しても積極的に行っていきたいと考えております。



治療前



治療後



実際にステントグラフト術を受けた患者様にお話を聞かせていただきました!

94歳患者様 手術成功談



術後の診察の様子

① 腹部大動脈瘤との診断を受けていかがでしたか?

腹部大動脈瘤と診断されても、自覚症状が全く無かったため、ピンときませんでした。しかしながら、破裂すると致命的である説明をかかりつけ医から聞き、ことの重大さを知りました。同時にこの年齢で手術が本当に可能かどうか不安もありました。

② ステントグラフト術に至る経緯はどうでしたか?

通常開腹術(お腹を広く切開しての手術)での治療が第一選択とのことでした。現在の年齢(94歳)では全身麻酔での開腹手術は困難と判断(かかりつけ医及び本人・家族)し、できる限り血圧を上昇させず破裂の可能性を減らす治療を行ってきました。最近になってお腹を開かずに治療できる方法(ステントグラフト治療)があると聞き、自分自身の体力を考えるとラストチャンスと考え、ステントグラフト治療に踏み切りました。

③ 入院後はいかがでしたか?

入院後は、まず麻酔科の先生に神経ブロック(大腿神経のみを麻酔薬でブロックする方法で、全身麻酔や硬膜外麻酔より体の負担が少ない)の説明を受け、その翌日ステントグラフト治療前の説明を受けました。いずれの先生にも細かな説明をして頂きました。気付けば、あっという間に手術当日でした。



飯田先生とステントグラフト手術をうけられた94歳患者様
(安心して診察を受けている様子がうかがえました)

④ 手術当日はいかがでしたか?

手術当日は、午前中に手術室で麻酔科の先生に神経ブロックをしてもらい、昼からカテーテル治療室で、ステントグラフト治療を受けました。術中の痛みは全くなく、気がつけば治療が終わっている状況でした。時間にして、約2時間で手術は終了して、1泊のみ集中治療室に入室しました。術翌日には、集中治療室を退室し、一般病棟に移りました。

⑤ 術後の痛みはどうでしたか?

翌日から歩行を行いました。まったく痛みは感じませんでしたが、傷が治るのに少し時間がかりました。術後経過をゆっくり観察して頂き、約2週間で退院となりました。

⑥ 今はどうなお気持ちですか?

ステントグラフト治療を受けて本当に良かったと思います。いつ破裂するかわからない恐怖から解放されました。同じ世代の腹部大動脈瘤をお持ちの患者様にもお勧めしたいと思います。

患者様へのお知らせ

平成21年9月28日(月)より敷地内全面禁煙を実施いたしますので、ご理解とご協力くださいますようお願いいたします。



独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221

HP <http://www.kanrou.net/>

発行人 奥 謙 編集人 福山 裕